EAACI Congress 2026 に参加して

ー国際学会で得た学びと交流ー

2026年6月、トルコ・イスタンブールで開催された「European Academy of Allergy and Clinical Immunology (EAACI) Congress 2026」に参加しました。EAACIは、アレルギー・免疫学分野で世界最大級の国際学会のうちのひとつであり、世界各国から多くの医療従事者や研究者が集まり、最新の研究や診療に関する活発な議論が行われます。

当院からもアレルギー科の3名が参加し、それぞれポスター発表を行いました。羽根は桃アレルゲンコンポーネント Pru p 3 および Pru p 7 の臨床的意義を、大森は牛乳アレルギーの重症度推移に関する研究成果を発表しました。

発表では、海外の研究者や臨床医から多くの質問や貴重な助言をいただきました。英語での質疑応答には難しさも感じましたが、自身の研究を国際学会で発表し、世界中から集まった参加者と直接議論できたことは大変貴重な経験となりました。また、アレルギー診療や研究に関する最新の知見に触れ、国際的に活躍する研究者同士が積極的に交流する姿に大きな刺激を受け、研究成果を世界へ発信することの重要性を改めて実感しました。

会期中、日本からの参加者による懇親会にも参加し、交流を深めることができました。所属施設の枠を超えて情報交換を行うことで、今後の診療にもつながる有意義な時間となりました。

開催地のイスタンブールは、ヨーロッパとアジアの文化が融合する歴史ある都市で、美しい街並みや歴史的建造物、豊かな食文化にも触れることができました。短い滞在ではありましたが、学術面だけでなく文化面でも多くの学びを得ることができました。

このような貴重な機会をいただいたことに深く感謝するとともに、今回得られた経験や学びを今後の診療・研究活動に生かし、地域医療へのさらなる貢献につなげてまいります。

（アレルギー科　羽根　将之・大森　茉令）

第26回 日本内分泌学会東海支部学術集会

このたび、2026年9月26日に三重県総合文化センターにおいて開催されます「第26回日本内分泌学会東海支部学術集会」の会長を務めさせていただくこととなりました。三重県での開催は8年ぶりとなります。

内分泌疾患は、高血圧、肥満、糖尿病といった身近な疾患や、原因のはっきりしない不定愁訴の背景に潜んでいることが少なくありません。一方で、適切な診断と治療により、患者様の生活の質（QOL）の向上に大きく貢献できることが、内分泌診療の大きな魅力でもあります。

本学術集会では、副腎疾患、肥満症、バセドウ病眼症、骨軟化症、先端巨大症をはじめ、基礎研究まで幅広い分野を取り上げ、各領域の第一線でご活躍されている先生方をお招きして、多彩なセミナーや講演を企画しております。

本学術集会が、参加者の皆様にとって新たな知見を得るとともに、活発な議論と交流の場となることを願っております。多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

（糖尿病・内分泌内科　荒木　里香）

